

平成17年度第5回理事会議事録

日時：平成17年9月10日(土曜日)
13:00 ~ 14:00

場所：愛知県立芸術大学

出席者：杉山、青木、黒川、五十嵐、
井上、車、酒井、田浦、高橋、
長谷、古屋、宮崎(紀)、
和田、渡辺、八馬、小野

名誉会員：日原

委任状出席：飯岡、糸井、岡崎、尾登、
川崎、河原林、工藤、渋谷、
庄子、梨原、西川、蓮見、
早坂、広川、三橋、宮崎
(清)、森本、森田、久保、
山中

欠席者：原田、細谷、山崎

1. 会長挨拶

杉山会長より挨拶がなされた。また日原とも各名誉会員から挨拶がなされた。

2. 平成17年度第4回理事会議事録の承認
八馬本部事務局員より平成17年度第4回の議事録(案)が提示され、承認された。

【審議事項】

3. 研究部会の活性化について

(五十嵐研究推進委員長)

五十嵐研究推進委員長から、研究部会の活性化について説明がなされた。その中で、杉山会長より、デザイン学を隔たり無くカバーできるような部会の枠組みを考えて欲しいとの意向が示された。また青木論文審査・論文集編集委員長より、論文審査・論文集編集委員会でも、部会ごとに特集を組む案も出ており、それも含めて検討して欲しいとの意向が示された。今後さらに研究推進委員会で検討することが確認された。

4. 会員の移動について

(八馬本部事務局員)

本部事務局に提出された書類を回覧、審査した結果、入会[正会員4名(内外国人2名)]、退会[正会員3名]が承認された。

【報告事項】

5. 特集号のアーカイブ化について

(井上学会誌編集・出版委員長)

井上学会誌編集・出版委員長より、特集号のアーカイブ化について検討を進めているとの報告がなされた。現在、印刷業者から見積もりを収集している段階であり、検討の後、理事会で諮りたいとの意向が示された。

6. Design シンポジウム2006について

(渡辺本部事務局員)

渡辺本部事務局員から、Design シンポジウム2006の幹事学会である日本機械学会から、事務局へDesign シンポジウム2006の共催依頼、および、実行委員会に代表者3名を推薦して欲しいとの依頼があったことが報告された。審議の結果、松岡由幸理事、永井由佳里会員、渡辺誠本部事務局員を推薦することが承認された。

6. 次回理事会について

次の理事会は12月17日(土)14:00から開催することが確認された。場所については、後日、事務局から連絡するとの確認がなされた。

記録：小野

第1回第1支部大会報告

大会実行委員長：梨原 宏

去る11月29日、東北工業大学を会場として第1回日本デザイン学会第1支部大会が、支部活性化と会員の交流を図る目的で開催されました。第1支部は東北・北海道地区の学会会員約150名による支部組織ですが、各会員は東北から北海道に広がる広大な地域でそれぞれの活動を展開しており、デザインに関する研究・実践活動を発表し共に討議する機会はなかなか持てませんでした。しかし一同に会し共に語り合うことの重要性を認識し、支部理事、幹事が中心となり、本大会の開催を実現しました。

大会ではメインテーマを「北のデザインを拓く」、「北のデザイン教育を拓く」とし、東北・北海道の地域の文化、風土を生かしたデザイン活動を、今後どのように啓蒙し、拓き、外に発信をするか、そして小中高から大学までを俯瞰したデザイン教育をどのようにして拓き、充実化を図るかを、パネルディスカッション、ポスタープレゼンテーション、パネル展示によって問いかけてきました。大会には杉山会長、早坂大会長を始め、会員、デザイナー、企業人、学校関係者、行政関係者、院生、学生ら約160名の参加があり盛況な大会となりました。

パネルディスカッション「北のデザイン活動を語る」では、時代の流れを予測した、宮城から発信するビジュアルデザイン活動、アイリスオーヤマ(株)のユーザーインの考え方による世界に向けた商品開発、秋田の木材資源を生かしたデザイン活動状況、岩手の伝統産業を生かしたクラフトデザイン活動、宮城県の山元町を事例とした暮らしのデザイン活動事例が発表され、討議されました。

パネルディスカッション「北のデザイン教育を語る」では、小学生の創造性を育むデザイン教育事例、小中学校で実践しているワラと籾殻を用いた環境教育のデザイン事例、工業高等学校におけるデザイン教育事例、大学でのデザイン教育の可能性と教育における課題が発表され、小中高から大学までを俯瞰した北のデザイン教育のあり方が、熱心に討議されました。また山形県、宮城県の美術教員を対象に行った「デザイン教育に関するアンケート調査結果」の報告があり、子どものものづくりへの関心の低さなど手で考えることの衰退について問題提起がありました。

ポスタープレゼンテーションでは、山形デザインハウスの地域におけるデザイン活動の動きや、地域内企業から出された課題テーマを競う山形県高等学校デザインコンクールの成果、北海道における地域の素材、技術、産業を生かしたデザインコンペティションの動きなど、各地域における実践的なデザイン啓蒙活動の紹介がありました。あわせて東北工大、東北芸工大の大学院研究成果発表がありました。またパネル展示では、大学、高専、短大での研究成果や地域での成果など、約20のデザイン成果が、パネルやモデルを通して展示されました。

以上の大会を通して、東北・北海道地区には、現代の社会背景を捉えた、地域独自の生活・文化・風土を映したデザイン行動とそれへの強い要請があることが確かめられました。本大会を踏まえて、支部としては更なる支部大会の継続、活動の充実化を目指し、東北・北海道地区の産業、教育、生活文化を視座したデザイン環境の充実、活性化に寄与することを目指しております。



パネルディスカッション風景1



パネルディスカッション風景2



パネル展示風景



ポスタープレゼンテーション風景



書籍販売風景

募集案内

ロボティクス・メカトロニクス 2006

講演会発表募集

テーマ：豊かな生活に向けた R T 技術の集大成

開催日：2006年5月26日(金)～28日(日)

会場：早稲田大学理工学部大久保キャンパス・新宿区コズミックセンター

ポスター発表申込締切：2006年1月15日

問合せ先：早稲田大学大学院工学研究科生命工学専攻藤江研究室 村山洋子
〒169-8555 東京都新宿区大窪3-4-1 59-307B

TEL:03-5286-3412 FAX:03-5291-8269

詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://www.rt-coe.waseda.ac.jp/robomec2006/>

第54回年次大会

工学・工業教育研究講演会講演募集

産・官・学にわたる工学研究者・技術者の新しい教育システムの構築が重要な課題となっている。本年次大会では、“知の次代”を担う工学教育のあり方について討論を深めたい。

テーマ：“知の次代”を担う工学教育

開催日：2006年7月28日(金)～30日(日)

会場：北九州国際会議場及び西日本総合展示場

講演申込：2006年1月23日(月)よりホームページ上にて受付開始

締切：3月3日(金)

主催：(社)日本工学教育協会

問合せ先：(社)日本工学教育協会事務局 川上

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館4階

TEL:03-5442-1021 FAX:03-5442-0241

詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsee/>

Design シンポジウム 2006

講演募集

多様な専門や立場の研究者、デザイナー、技術者などの参加者による講演や議論を通して、“Design”という共通の問題に対する理解を深め、学術的、実践的な新たな展開、日本における設計とデザインを統合した研究の中心となるコミュニティの形成をめざし「Design シンポジウム 2006」を企画しました(共催：日本機械学会(設計工学・システム部門)、精密工学会、日本設計工学会、日本建築学会、日本デザイン学会、人工知能学会協賛：the Design Society, 横断型基幹科学技術研究団体連合、ほか)。下記のとおり、一般講演を募集しています。多数の積極的なご参加をお願い致します。

開催日：2006年7月4日(火)、5日(水)

会場：早稲田大学大久保キャンパス

発表申込み締切：2006年3月17日(金)

問合せ先：東京大学大学院工学系研究科産業機械工学専攻 村上存 (Design シンポジウム 2006 運営委員会委員長)

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1

TEL&FAX:03-5841-6327

murakami@design.t.u-tokyo.ac.jp

詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://www.jsme.or.jp/dsd/>

献本御礼

寄贈図書

・ゴシック・リヴァイバル、ケネス・クラーク著 近藤存志訳、白水社

・インダストリアルデザイナーになるには、石川弘、ペリかん社

・環境色彩計画、吉田眞吾、丸善

・場の変様3、青木淳他、TOTO出版

機関誌

・JABEE NEWS 創刊号、日本技術者教育認定機構、2005

・木の文化フォーラム2005年第2号、木の文化フォーラム、2005

・たまびNEWS No.39、多摩美術大学、2005

予稿集・論文集・報告書

・デザイン理論、No.46、意匠学会、2005

・平成16年度業務報告、長野県工業技術総合センター、2005

・情報技術部門研究報告No.21、長野県工業技術総合センター、2005

・第21回ファジィシステムシンポジウム講演論文概要集、日本知能情報ファジィ学会、2005

・医療機器のヒューマンファクタエンジニアリングセミナーテキスト、(社)電子情報技術産業協会、2005

・国際的に通用する技術者教育の展開、経済産業省大学連携推進課、2005

会員の移動

平成17年度第五回理事会承認 2005.9.10

*入会：正会員4名(内外国人2名)

中島 啓之

横山 浩史

孫 銀美

Son minjeong

*退会：正会員3名

緒方 康二

二木 盈行

水嶋 克典

住所変更は

お済みですか？

年度末は住所不明で戻ってくる郵便物が増えます。

住所変更は確実にお願いします。

(お知り合いの方で、該当する方がおられましたら、この旨をお伝えください。)

変更届は、封筒の裏の書式をご利用ください。

本部事務局より

第53回春季研究発表大会についてのご案内

大会実行委員会
概要集編集委員会
研究推進委員会

会報175号にて開催告知を申し上げましたとおり、第53回春季大会を下記日程にて開催いたします。

6月30日(金) : 金沢21世紀美術館
7月1日(土)2日(日) : 北陸先端科学技術大学院大学

ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。
「発表申し込み」および「新しい発表形式」についてご案内いたします。

(1) 研究発表申込について <概要集編集担当 古屋 繁>

研究発表日程 : 平成18年7月1日(土)・7月2日(日)

会場 : 北陸先端科学技術大学院大学

研究発表の申込スケジュールと方法

- ・発表申し込み : **平成18年3月14日(火)～3月27日(月)**
- ・申し込み方法 : Webからの申し込み (概要集原稿も同時にWebから投稿)
- ・採否連絡 : 4月中旬以降
- ・発表日時・発表場所の発表者への連絡 : 5月末

Webからの投稿ができない方は本部事務局(jssd@mx10.ttcn.ne.jp)にお問い合わせください。

また、研究発表の申込に関するお問い合わせは、概要集担当 拓殖大学 古屋までメール(jssd@id.takushoku-u.ac.jp)にてお願いします。なお、申し込み方法・原稿の執筆要領の詳細は、1月以降 デザイン学会ホームページ(<http://www.soc.nii.ac.jp/jssd/index.html>)にアップしていく予定ですので、そちらをご覧ください。

(2) 第53回日本デザイン学会春季研究発表大会での「新しい発表形式(研究部会主導発表枠)」についてのおしらせ <研究推進委員会 五十嵐浩也>

今大会の研究発表において、新たに研究部会主導で発表を組織し、運営してゆく発表枠を設けます。この発表枠は従来の研究発表枠の中にまとまった時間(2時間程度)を研究部会が組織して発表を行っていただくというものです。

<内容>

研究部会管轄発表

- ・希望する研究部会を研究推進委員会が調査致します。(1月中)
(その際、各研究部会の統括テーマをお願い致します)
- ・希望を提出した研究部会は研究発表を組織してください。
発表概要は、概要集に一般の研究発表同様に登録していただきます。
(概要集の登録方法に従ってください)

公募発表(一般会員が研究部会の提出したテーマに対して発表を行う形式)

- ・一般の研究発表登録の際に研究部会枠のテーマをお選びください。
(詳細は、概要登録、並びにホームページをご覧ください)

なお、この件についての確認、質問、ならびに登録につきましては、研究推進委員会 筑波大学 五十嵐浩也(e-mail: igara@kansei.tsukuba.ac.jp, tel: 029-853-6208)までお寄せください。

以上